

JAXA の坂尾准教授が資料 8-3(「ひので」の X 帯受信)を 3 分弱で説明した後、2 分余の質疑応答があった。(以前から受信の不安定が見られた X 帯の通信が、2 月上旬以降不安定になる頻度が増し、S 帯での受信を実施する為の検討と準備を進めている。伝送能力が低下することから多少の制約は生じるが、元々 X 帯での計画は少々贅沢な使い方をしていた事もあって、大きな問題にはならないと説明していた。)

池上: ビットレートの差はどの位でしたっけ。

JAXA 坂尾: これはですね、エー、単純なスピードの差で言いますと約 16 倍ほど違います。ただ、これまで X バンドで若干贅沢な使い方をしたと云う事もありまして、まあ、其処までの差は実質的には無いと云う状況です。

池上: そうすると通信時間は当然長くなる訳ですよ。

JAXA 坂尾: はい、所定の、はい。

池上: その場合、電源のバジェットって云うのは特に問題は無い。

JAXA 坂尾: あ、其れは全く問題ありません。

青江: 原因究明。今後の見通しと言いましょうかですね。

JAXA 坂尾: 原因究明はですね、現在 JAXA の他の部門の方にも入って頂いて、原因究明を鋭意進めております。それで、現在、原因究明の為に試作品を作って、原因究明を試みると云う事も視野に入れて、其の検討を進めて居ると云う状況で御座います。現在疑わしい処が此処と此処と、あの、2 箇所程に迄は絞り込めて居るんですけども、其処から先の所を詰めると云う処を行なって居る状況です。

青江: 是非、あの、まあ、追求を引き続きお願いをしたいと。

JAXA 坂尾: はい、承知致しました。

松尾: 宜しゅう御座いますか。此れは確かサイエンスが特集を組んだんでしたっけ。

JAXA 坂尾: そうですね、昨年 12 月に特集号として出て居ります。

松尾: まあ、そう云う盛業中にこう云う事が起こるとヒヤッと致しますので、一つ。幸い今の処は S バンド代わり出来る様で御座いますけど、今青江さんからもあった様に、其の原因究明と、それからまあ、地上試験のあり方ともセットで、是非作業を続けて頂いて、と云う風に思います。

JAXA 坂尾: はい。承知致しました。

松尾: 宜しゅうございますか、どうも有難う御座いました。